

一、新官制

(一) 終戦連絡事務局官制改正ノ経緯

聯合國軍隊ノ本邦進駐ニ伴ヒ、聯合國側ノ要望モアリ聯合國側トノ連絡ニ便ナラシメンガ爲、帝國政府ハ曩ニ官制ノ制定ヲ仰ギ外務省ノ外局トシテ終戦連絡事務局ヲ設ケ、中央事務局ノ外聯合國軍隊ノ進駐ヲ見タル地ニ地方事務局ヲ設ケタルガ、爾後、聯合國軍進駐ノ進展ニ伴ヒ、聯合國側トノ連絡事務益々複雑多岐ニ亘ルト共ニ愈々其ノ重要ノ度ヲ加フルニ至リタルヲ以テ、上叙終戦連絡事務局ノ機構ニ付テモ亦擴充強化ノ要緊切ナルモノアルニ至リ、今般本件改正勅令ノ制定ヲ仰ギタルガ右改正ノ要點ハ中央事務局ニ於テハ(一)現在勅任ノ長官ヲ置ケルヲ改メ親任ノ總裁ヲ置キ(二)新ニ勅任ノ次長二人ヲ置キ内一人ハ外務次官ヲシテ之ヲ兼ネシメ(三)現在四部ヲ設ケ居ルヲ改メテ六部トシ結局二部ヲ増設シ(四)現在外務部内勅任官ノ補職トセラレ居ル部長ヲ本官タル勅任ノ職員トシ更ニ中央事務局及地方事務局ノ双方ニ付(一)現在外務部内高等官及判任官ノ補職トセラレ居ル連絡官及連絡官補ヲ各本官タル職員トシ(二)新ニ參與若干人ヲ置キ外務大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ジ局務ニ參與セシムルノ途ヲ拓カントスルニ在ルモノナリ。

(二) 改正終戦連絡事務局官制

第一條 終戦連絡事務局ハ外務大臣ノ管理ニ屬シ大東亞戰爭終結ニ關シ聯合國官憲トノ連絡ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 終戦連絡事務局ハ終戦連絡中央事務局及終戦連絡地方事務局ト

ス

地方事務局ノ名稱、位置及所管事項ハ外務大臣之ヲ定ム

第三條 中央事務局ニ左ノ職員ヲ置ク

總裁	親任
次長	二人 勅任
部長	六人 勅任
秘書官	一人 奏任
連絡官	專任 百六十三人 奏任
連絡官補	專任 九十六人 判任

次長ノ中一人ハ外務次官ヲシテ之ヲ兼ネシム

第四條 地方事務局ニ通ジテ左ノ職員ヲ置ク

局長	奏任 内四人ヲ勅任ト爲スコトヲ得
連絡官	專任 四十四人 奏任
連絡官補	專任 三十五人 判任

局長ハ連絡官ヲ以テ之ニ充ツ

連絡官及連絡官補ノ各地方事務局毎ノ配置ハ總裁之ヲ行フ

第五條 前二條ノ職員ノ外必要ニ應ジ外務大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ中央事務局又ハ地方事務局ノ連絡官ヲ命ズルコトヲ得

前條第三項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル地方事務局ノ連絡官ニ付之ヲ準用ス

第六條 中央事務局ニ總裁官房並ニ總務部、第一部、第二部、第三部、第四部及第五部ヲ置ク

總裁官房及各部ノ事務ノ分掌ハ總裁之ヲ定ム

第七條 中央事務局及地方事務局ニ參與若干人ヲ置キ局務ニ參與セシム

參與ハ外務大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第八條 總裁ハ局務ヲ統理シ所部ノ職員ヲ指揮監督シ中央事務局及地方事務局ノ連絡官補ノ進退ヲ專行ス

第九條 次長ハ總裁ヲ佐ケ局務ヲ掌理ス

第十條 部長ハ總裁ノ命ヲ承ケ各部ノ部務ヲ掌理ス

第十一條 祕書官ハ總裁ノ命ヲ承ケ機密ニ關スル事務ヲ掌ル

第十二條 局長ハ總裁ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌理ス

第十三條 連絡官ハ上官ノ命ヲ承ケ中央事務局又ハ地方事務局ノ局務ヲ

(三) 新舊官制對照表

(新)

第一條 終戰連絡事務局ハ外務大臣ノ管理ニ屬シ大東亞戰爭終結ニ關シ聯合國官憲トノ連絡ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 終戰連絡事務局ハ終戰連絡中央事務局及終戰連絡地方事務局トス

地方事務局ノ名稱、位置及所管事項ハ外務大臣之ヲ定ム

第三條 中央事務局ニ左ノ職員ヲ置ク

總裁	二人	親任
次長	二人	勅任
部長	六人	勅任
祕書官	專任一人	奏任
連絡官	專任百六十三人	奏任
連絡官補	專任九十六人	判任
次長ノ中一人ハ外務次官ラシテ之ヲ兼ネシム		

掌ル

第十四條 連絡官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ中央事務局又ハ地方事務局ノ局

部ニ從事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

外務部内ノ高等官又ハ判任官ニシテ本令施行ノ際現ニ終戰連絡中央事務局ノ連絡官若ハ連絡官補又ハ終戰連絡地方事務局ノ連絡官若ハ連絡官補ノ職ニ在ルモノ別ニ辭命ヲ發セラレザルトキハ夫々其ノ職名ト同一名ノ官ニ同官等俸給ヲ以テ任セラレタルモノトス

(舊)

第一條 終戰連絡事務局ハ外務大臣ノ管理ニ屬シ大東亞戰爭終結ニ關シ帝國ト戰爭狀態ニ在リタル諸外國ノ官憲トノ連絡ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 第一項

(同上)

同條第二項

終戰連絡地方事務局ノ名稱位置及所管事項ハ外務大臣之ヲ定ム

第三條 終戰連絡事務局ニ左ノ職員ヲ置ク

總裁	二人	親任
次長	二人	勅任
部長	六人	勅任
祕書官	專任一人	奏任
連絡官	專任百三十人	奏任
連絡官補	專任七十八人	判任
終戰連絡地方事務局		
局長	(四人)	勅任

0190

第四條 地方事務局ニ通ジテ左ノ職員ヲ置ク

局長

連絡官

專任四十四人 奏任

内四人ヲ勅任ト爲スコトヲ得

連絡官補

專任三十五人 判任

局長ハ連絡官ヲ以テ之ニ充ツ

連絡官及連絡官補ノ各地方事務局毎ノ配置ハ總裁之ヲ行フ

第五條 前二條ノ職員ノ外必要ニ應ジ外務大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官ノ中ヨリ内閣ニ於テ中央事務局又ハ地方事務局ノ連絡官ヲ命ズルコトヲ得

前條第三項ノ規定(前項ノ規定)ニ依ル地方事務局ノ連絡官ニ付之ヲ準用ス

第六條 中央事務局ニ總裁官房並ニ總務部、第一部、第二部、第三部、第四部及第五部ヲ置ク

總裁官房及各部ノ事務ノ分掌ハ總裁之ヲ定ム

第七條 中央事務局及地方事務局ニ參與若干人ヲ置キ局務ニ參與セシム

參與ハ外務大臣ノ奏請ニ依リ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

第八條 總裁ハ局務ヲ統理シ所部ノ職員ヲ指揮監督シ中央事務局及地方事務局ノ連絡官補ノ進退ヲ專行ス

第九條 次長ハ總裁ヲ佐ケ局務ヲ掌理ス

第十條 部長ハ總裁ノ命ヲ承ケ全部ノ部務ヲ掌理ス

連絡官 (四十人 奏任)
連絡官補 (三十五人 判任)

第七條 局長ハ外務部内勅任官ヲ以テ之ニ充ツ長官ノ命ヲ承ケ終戰連絡地方事務局ノ局務ヲ掌理ス

第八條第二項 前項ノ外連絡官ハ必要ニ應ジ關係各廳高等官ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第四條 終戰連絡中央事務局ニ第一部、第二部、第三部及第四部ヲ置ク各部ノ分掌ハ外務大臣之ヲ定ム

第五條 長官ハ外務大臣ノ指揮監督ヲ承ケ終戰連絡事務局ノ局務ヲ統理ス

第六條 部長ハ外務部内勅任官ヲ以テ之ニ充ツ長官ノ命ヲ承ケ終戰連絡中央事務局ノ各部ノ部務ヲ掌理ス

第十一條 秘書官ハ總裁ノ命ヲ承ケ機密ニ關スル事務ヲ掌ル

第十二條 局長ハ總裁ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌理ス

第十三條 連絡官ハ上官ノ命ヲ承ケ中央事務局又ハ地方事務局ノ局務ヲ掌ル

第十四條 連絡官補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ中央事務局又ハ地方事務局ノ局務ニ従事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

外務部内ノ高等官又ハ判任官ニシテ本令施行ノ際現ニ終戦連絡中央事務局ノ連絡官若ハ連絡官補又ハ終戦連絡地方事務局ノ連絡官若ハ連絡官補ノ職ニ在ルモノ別ニ辭令ヲ發セラレザルトキハ夫々其ノ職名ト同一名ノ官ニ同官等俸給ヲ以テ任ゼラレタルモノトス

二、終戦連絡事務局地方

機構ニ關スル件

(一) 昭和二十年九月六日閣議決定要旨

一、聯合國地方軍司令部ニ對スル諸情報ノ提供、設營(關係各廳ノ十分ナル協力ニヨリ之ヲ行フ)各種ノ便宜供與及其他連絡事務ヲ擔任セシムル爲、外務大臣ハ必要ナル地ニ終戦連絡地方事務局(以下地方事務局ト稱ス)ヲ設置ス

二、地方事務局ハ終戦連絡中央事務局ノ指揮命令ニ從フモノトス

第七條 局長ハ外務部内勅任官ヲ以テ之ニ充ツ長官ノ命ヲ承ケ終戦連絡地方事務局ノ局務ヲ掌理ス

第八條 第一項 連絡官ハ外務部内高等官ヲ以テ之ニ充ツ上官ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌ル

第九條 連絡官補ハ外務部内判任官ヲ以テ之ニ充ツ上官ノ指揮ヲ承ケ局務ニ従事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

高等官等俸給令中左ノ通改正ス

第八條中「遞信院次長」ノ次ニ「終戦連絡中央事務局局長」ヲ加フ別表第一表外務省ノ部中外務事務官ノ項ノ次ニ左ノ如ク加フ

終戦連絡中央事務局局長官	同上								
--------------	----	--	--	--	--	--	--	--	--

三、地方事務局ノ局長ハ外務部内高等官(他省又民間ヨリ任用スル場合アルモ官制上身分ハ外務部内ノ高等官トス)中ヨリ之ヲ選任ス

四、地方事務局ハ必要ナル地ニ其ノ出張所ヲ設ケルコトヲ得

五、關係各廳トノ連絡ヲ密ニシテ地方事務局設置ノ目的達成ニ遺憾ナキヲ期スル爲地方事務局ニ終戦連絡地方委員會ヲ設置ス

六、終戦連絡地方委員會ノ委員ハ關係各省、地方總監府、都道府縣等ノ關係官ヲ以テ組織シ委員長ハ地方事務局局長之ニ當ル

0192